

ご質問と回答

質問27（平成16年1月受付）

（長岡市出身海外在住）

以前にも質問したものです。すっきりしないことは、なぜ過疎化が進んでいるようなところとの合併も考慮しているのですか。合併当初は収支が上向きでその後は厳しいってそんなじゃだめでしょう。経営者だったら失格ですよ。それと、皆さんも多分わかりだとおもいますが、自分らで産業を興すことができなければ人口など増えないし、活性化しないでしょう。若い者が住みたくなる所というのは安住の地じゃないですよ。ちょっとワクワクすることがあるから魅力があるのです。だから東京へ行ったきりになっちゃんですよ。合併の確固たる未来へのビジョンと、この町の魅力アップについての意見をお願いします。

回答

まず最初のご質問ですが、以前にもご説明いたしましたように、長岡市の経済活動は周辺地域の皆様にも支えられています。従って、周辺市町村が寂れることは、長岡市も困った状況になるということであり、共存共栄の精神でまちづくりを進め、中越地域全体を発展させていくことが中心都市としての責任だと考えています。

次に「合併当初は収支が上向きでその後は厳しい」という財政シミュレーションについてですが、これは、原則として現在の支出状況が今後も続くと仮定した場合の将来の収支状況を試算したもので、今後策定される新市建設計画の財政計画では、将来の収支に見合う支出計画を立てることになります。

最後に未来へのビジョン・まちの魅力アップについてですが、任意合併協議会で策定した新市将来構想では、地域の様々な人々の思いや声と地域の強みから「独創企業が生まれ育つ都市」「元気に満ちた米産地」「世代がつながる安住都市」「世界をつなぐ和らぎ交流都市」という新市地域らしさ価値（ブランディング価値）が導き出されました。この価値は、新市の市民が未来に向け共有し行政と一体となった活動により高められることによって、都市としてのブランドが確立し、産業振興や人口増につながるようになります。

詳しくは新市将来構想をご覧ください。

なお、今後策定する新市建設計画では、この新市地域らしさ価値を高めるために実施していく具体的な事業を決めていくことになります。

質問26（平成16年2月受付）

（長岡市在住）

広域組合外の寺泊町に合併を申し入れたみたいですが、飛び地合併でも問題ないということなんでしょうか？問題ないということならば、中核都市を目指して広域組合外の枠組みが決まった近隣市町村にも17年3月以降でも中核都市をめざした合併に協力

いただけるようお願いすべきでないでしょうか？是非とも、中核都市となって地方分権の強化に努めてほしいと考えます。

回答

森長岡市長が寺泊町長に、長岡地域の合併協議へ参加を打診しましたが、これは協議会会長としての立場ではなく、長岡市長として打診しました。

寺泊町との合併で飛び地になっても問題ないかということですが、寺泊町は中之島町と、信濃川を境界にしてですが接しており、飛び地にはなりません。

広域組合以外の枠組みが決まった近隣市町村にも、中核市をめざした合併に協力いただけるようお願いすべきではということですが、現在、県内には長岡地域広域市町村圏（＝長岡地域広域行政組合構成市町村）を含め14の広域市町村圏を県が定めています。これは住民の日常社会生活圏の広域化に対応し、圏域内の総合的・一体的な行政の調整、推進を行った方がその地域のまちづくりに役立つという考えから設定されています。それを強力に推進する手段として「合併」があります。現在、長岡地域広域市町村圏のうちの6市町村が本協議会のもと新市への合併に向け動いているわけですが、同じ広域市町村圏の一体化や行財政基盤の強固な自治体を作り上げるという観点から、長期的には小千谷市、川口町、三島郡3か町村や、見附市、栃尾市をも含め、長岡地域広域市町村圏全体の合併により40万都市が実現できるよう努力したいと考えており、これまでも折に触れ長岡市長はこのような考えを表明しております。

また、長岡地域広域市町村圏の隣接市町村では、現在それぞれの地域で、合併に向けた協議が進められているところではありますが、寺泊町については、分水・弥彦・寺泊合併協議会が解散し、合併の枠組みが解消されたため、中越地域全体の発展のための40万都市構想に合致する良い機会と考え、中越地域の中心都市の責任として長岡市長が打診したものです。

質問25（平成16年1月受付）

（栃尾市在住）

合併が議会で否決されましたが、住民と議員との乖離があるように見られますが今後どのようにされますか。

回答

今後、合併協議を進めるために法定協議会を設置し、そこに参加するかどうかは、それぞれの市町村の議会議決で決定することになっています。したがって、もし、住民と議員との考えに乖離があるのであれば、この乖離をどのような方法で埋めるのか、また、その結果、栃尾市が再度法定協議会に参加することにするのか、あるいは自立の道を選択するのかは、あくまで栃尾市民の皆様が決めることです。

法定協議会は、栃尾市を除く6市町村でスタートしますが、栃尾市が途中から参加することが決まれば、いつでも受け入れることになっています。

質問24（平成16年1月受付）

(長岡市在住)

質問18の通り小千谷市民へ長岡地域の情報が提供されないこと遺憾に思います。理由は分かりませんが、協議会に加入していない合併される側の市町村が積極的に市民へ公開するとは思えません。小千谷市では市のHPの掲示板を見ると「合併したら市民会館なども壊される」「長岡市に完全吸収される」など噂も市民に広がっているようです。HPは特定の人しか観ることができないため、TVや新聞などで特集として(中立的な立場で)取り上げて頂けたらと思います。最後になぜ小千谷市が情報を市民へ提供しなかったか、長岡地域側も(高圧的であったなど)問題がなかったか考えて欲しいと思います。

回答

長岡地域が、今後、法定協議会に入った場合、より本格的な協議になってまいりますので、その詳細な内容については、これまで同様、協議会だよりやHPなどによる広報のほか、その時々々の機会をとらえて様々な広報を行い、住民の皆様積極的に伝えさせていただきます。

また、これまで任意協議会は延べ10回開催してきましたが、会議終了直後に、毎回必ず、構成市町村の首長と議長による共同記者会見を行ってきました。法定協議会に入っても引き続き開催し、ホットな協議結果を複数の報道機関をつうじて、長岡広域圏に住む多くの住民の皆様からご理解いただけるよう努めてまいります。

最後に、長岡地域からの情報提供が、高圧的でなかったかということですが、そのようなことは一切ありませんし、これまで同様、広域市町村に対し、すべての協議会資料を提供し、協議会の考えを伝えていくことに変わりはありません。

質問23(平成16年1月受付)

(長岡市在住)

新市(8の市が)合併すると何か利点があるんですか?具体的に、できたらわかりやすく教えて下さい。

回答

ご質問に、「新市(8つの市が)合併すると...」とありますが、見附市が11月に行った住民アンケートの結果を受け、12月8日に開催した第10回協議会で正式に当協議会を脱会しました。これに伴い、長岡地域は、長岡市、栃尾市、中之島町、越路町、三島町、山古志村、小国町の7市町村で合併協議を進めています。

合併のメリットは、次のようなものがあげられます。

- ・管理部門等の効率化により、人件費の削減(市長などの特別職・議員・一般職員)など行財政が効率化されます。
- ・広域的な観点からの地域づくり・まちづくりが可能になります。
- ・財政規模の拡大により大規模・重点投資が可能になります。

(グレードの高い整備ができます。)

- ・地域のイメージアップと総合的な活力が強化されます。

- ・広い視野で議論することにより、議会がより活性化されます。
- ・長岡地域全体がレベルアップし、中越地域の発展の原動力になります。

また、長岡地域任意合併協議会報告書「P 5 合併のメリット」でもお知らせしていますので是非ごらんください。